

報告事項

I. 自己改革の取り組み及び進捗状況について

進めてます！ 自己改革



今、私たちは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの目標を掲げ、平成31年3月までに一定の成果を上げることを目指し、伊万里有田の農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について十分な結果が残せるように、私たちは、その具体策を3カ年計画や各事業年度の計画に盛り込んで進めており、その主だった取り組みと進捗状況等を次のとおり報告します。

まだまだ、組合員の皆さんの期待・要望に、十分応えきれていない部分が多いと思いますが、これからも組合員の皆さんの声を聴き、真剣に議論して確かな方向性を見出す協同組合としての自己改革を進めていきます。



農業者の所得増大につながる取り組み

～J A独自の米の直販方式導入により有利販売を目指す～



* 農業者の所得増大を目指し、J A伊万里独自による米の直接販売方式を拡大しています。

単価交渉による有利販売と中間コスト削減による生産者手取りに重点をおいた販売拡大を行いました。

(28年産実績: 15,000袋)

次年産についても、更なる販路拡大を図っていきます。



農業生産の拡大につながる取り組み

～地域特性を活かしたブランド米の生産拡大と販路の開拓に取り組む～



深山地区 棚田の風景

*地域特性を活かした「こだわりのある米づくり」に取り組み、売れるブランド米の品質向上と国産長粒米「ホシユタカ」の生産拡大および販路拡大を行いました。

その結果、黒川町深山地区では特別栽培による低タンパク米生産に努め、佐賀県食味コンクールで最優秀賞を受賞しました。

*ホシユタカについては、佐賀大学芸術地域デザイン学部との提携による商品開発を進めました。

直売所や福岡天神のイムズ他7店舗での販売を開始するとともに、業務用として直接郵送販売を実施するなど新たな販路拡大に努めています。



JA伊万里農業まつりにて
ホシユタカの紹介・特販



地域の活性化につながる取り組み

～食農教育への取り組み～



梅干作り 真剣に梅のヘタをとる子供達

*牧島小学校3年生を対象に、梅をテーマとした食育活動を行いました。

年間を通して梅の学習、梅の収穫、梅干・梅料理作りなどを行いました。

毎年2月に行われる梅まつりでは、1年間の学習の成果を発表するとともに、梅を題材にした演劇等も披露しています。

その他、各支所においても女性部・青年部等の組織を通じて食と農の大切さについて学ぶ取り組みを進めています。



地域の活性化につながる取り組み

～JAフレッシュミズ活動の支援～

＊昨年12月に開催された「第14回 JA伊万里農業まつり」にフレッシュミズのメンバーで参加しました。

地元でとれたあずきとさつまいもを使ったぜんざいとコーヒーをフレッシュミズ喫茶コーナーで販売しました。

多くの来場者で賑わった農業まつりでしたが、温かいぜんざいとコーヒーはお客様に大変喜ばれ、地域の方々との交流を深めることが出来ました。また、助け合い組織ではバザーを行い、とてもお買い得でお客様に喜ばれました。

農業まつりでの売り上げは、フレッシュミズ活動や助け合い組織で高齢者健康生活の支援に役立てています。



フレッシュミズ喫茶コーナー 集合写真



「JAは自己改革に取り組んでいると言うが、自分に関係ない内容だ。成果が見えない。」との意見があることも真摯に受け止めています。



組合員の皆さんが納得できる取り組みを実現するのが、私たちの使命と思っています。
組合員の皆さんの営農形態も様々です。米麦だけの方、露地野菜を生産されている方、施設園芸の方、畜産酪農の方、中山間地で農産物を生産されている方など、営農形態が違えば、その求められるニーズも様々です。

全てのニーズに応え、成果を上げるためには、時間と財源が必要となりますので、現在、優先順位を付けて取り組んでいます。



**組合員の皆さんの期待・要望に応えるため、
JAは自己改革に取り組んでいることをご理解ください。**